

観光地における景観形成のための森林等の整備

【道路管理課・森林政策課】

1 必要性・独自性 【基本方針活用事業より】

- ・本県は、観光を軸とした地域経営の体制を整備することにより、県内観光業の「稼ぐ力」を高めて雇用や移住に結びつけ、世界と競争できる「観光大県づくり」を推進。
- ・本県が目指す世界水準の山岳高原リゾート構築のためには、本県の強みである豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上が不可欠。
- ・地域の景観に合致した間伐の実施、街路樹の整備等や、地域の特性・ニーズに合わせた、間伐、除伐、竹林整備等が必要。

2 目指す成果・成果目標 【基本方針活用事業より】

- ・街路樹等の整備を行う街路延長 概ね延べ40km程度/5年間
- ・地域の景観に合致した間伐等 概ね 110ha程度/5年間

【取組により期待される効果】

- ・観光地の魅力向上による観光利用者の満足度の向上
- ・街路樹剪定の実施にあたっては「街路樹剪定士」資格保有者による作業を要件とし、資格取得者の拡大を促すとともに、モデル事業として剪定技術に関する講習会など、街路樹管理技術向上の醸成を図る。

3 事業の概要

【観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）】

- ・山岳高原リゾートを形成する観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施する。
- ・また、当事業による街路樹剪定の実施にあたっては、「街路樹剪定士」資格保有者による作業とし資格取得者の拡大を促すとともに、モデル事業として剪定技術に関する講習会など街路樹管理技術向上の醸成を図る。

予算額:千円

事業内容	事業主体	R3年度 事業計画及び目標		補助率	予算額
・街路樹の剪定 ・街路の植樹等	県	街路樹整備	延べ7km	—	15,000

【観光地等魅力向上森林景観整備事業】

- ・豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図る。

予算額:千円

事業内容	事業主体	R3年度 事業計画及び目標		補助率	予算額
・景観整備 ・ビューポイントの樹木の伐採 ・巨樹・古木などの保存 ・高速道路沿線の松くい虫被害木の景観対策	市町村	地域の景観に合致した間伐等	43ha	9/10	35,000

4 見える化に向けた取組、取組の継続性、他地域への波及効果等

【見える化に向けた取組】

- ・ 国営アルプスあづみの公園や白樺湖など観光地周辺の街路等をはじめ、ビューポイント整備に資する街路樹整備や景観向上のための森林整備を実施し、観光地の魅力向上に繋げる。
- ・ 景観整備については、地域において必要とされる箇所を優先して整備することで、森林の景観整備への意識向上を図る。
- ・ 高速道路沿線の松くい虫被害による枯損木を伐採することで、自然豊かな信州の景観づくりを推進する。
- ・ 事業の実施箇所では森林づくり県民税を活用している旨の看板等の設置を行い、森林づくり県民税の周知及び理解の促進にも取り組む。

《事業実施例》

<p>街路樹整備</p>	<p>諏訪湖周辺の街路樹を整備 諏訪市 (主) 諏訪辰野線</p>	<p>ビナスラインの街路樹を整備 立科町 (主) 諏訪白樺湖小諸線</p>
<p>街路樹整備により 諏訪湖や霧ヶ峰の 眺望を確保</p>		

<p>景観整備</p>	
<p>【観光地の魅力向上を目的とした森林整備】 上松町寝覚の床 (令和元年度実施)</p>	
<p>実施前</p>  <p>車窓からの景観を損ねていた支障木</p>	<p>実施後</p> 
<p>【高速道路沿線の松くい虫被害木の景観対策】 筑北村坂北高速道路沿 (令和2年度実施)</p>	
<p>実施前</p> 	<p>実施後</p> 